

当施設では6月30日より、ベッドのリニューアルを行いました。

看護・介護負担軽減や離床促進・自立支援などの高機能商品を活用し、安全・安心かつ
 “快適な療養環境”をご利用者様にご提供するため、下記2機種のベッドを採用いたしました。

低床3モーターベッド FBR-N135 W1



基本機能

ポイント 1 安定した座位がとれるノンサイドフレーム構造で安全性を高めます。

ノンサイドフレーム構造

ベッドサイドに腰掛けた際、ふくらはぎに当たっていたフレームを無くすことにより、安定した端座位が保て、立上がり時の転倒の危険性が軽減されます。

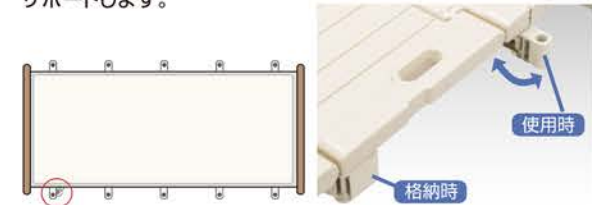


サイドレールブラケット構造

専用のサイドレールや移動支援バーを取付け可能。不使用時には簡単に格納でき、安全な看護を実現するとともに、自立をサポートします。



サイドフレームの突出部分がないため、安定した端座位が保て楽に立ち上がれます。



引き出して、サイドレールを取り付けられます。

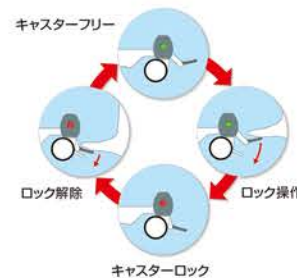
ポイント 2 走行性にすぐれた双輪キャスター

髪の毛やホコリを巻き込みにくく、エレベーター等の段差を乗り越えやすい双輪キャスターとなっています。



ワンウェイトータルロックキャスター 250W

フット側中央のペダルを上から踏むだけで、全てのキャスターのロック及び、解除を行う事ができます。
 (車輪径:φ100mm)



超低床フロアベッド(3モーター) FLB-03

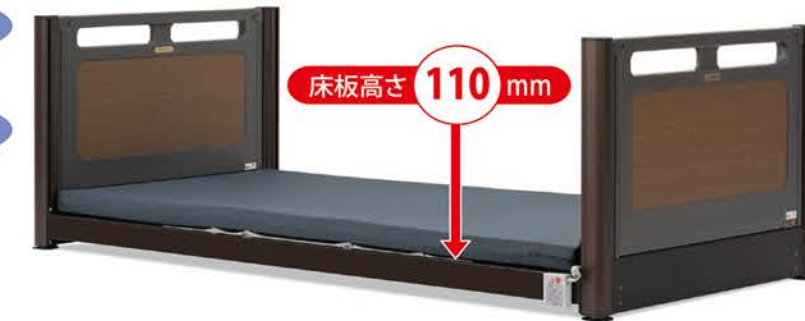


基本機能

ポイント 1 超低床設計 床板面高さ110ミリを実現し、誤ってベッドから転落した場合でも身体に受ける衝撃を最小限にとどめられます。

転落時の衝撃緩和

布団感覚で安心



ポイント 2 500ミリのハイローストローク（床板面110～610ミリ）により、食事の介助や車いすへの移乗が安全でスムーズに行えます。介護する方の作業をさまたげず、介護負担の軽減がはかれます。



■ リフト・サイドテーブルがセットできます。

介護負担軽減



背上げ機能 0～75°
 脚上げ機能 0～35°

床板高さ 610 mm

ハイロー機能 0～500ミリ
 床板面高さ110～240ミリ・240ミリ～610ミリ

※ベッドポジションを高くする際には安全のためサイドレールをご使用下さい。